

営農組合と連携した地域資源保全の取組

かさぎ ふくまき にちなんちょう 笠木福万来集落保全会(旧 笠木の集落を守る会)(鳥取県日南町)

- 当地域は鳥取県の南西端にあり、島根・広島・岡山の3県と県境を接する日南町のほぼ中央に位 置する標高500mの冷涼な気候に恵まれた山間農業地域である。また、古くから良質米産地として 知られ、町内に2社存在していた造り酒屋の発祥の地でもある。さらに福万来地区には、ヒメボタ ルとゲンジボタルが同時に同じ場所で観ることができる全国的にも貴重な場所があり、星空と雪解 けの清水、秋には雲海に沈む集落と自然環境豊かな地域である。
- 平成19年度から、営農組織が中心となり取組を開始し、農業資源の維持、保全に取り組んでいる。
- 〇 平成27年に笠木営農組合を非営利に徹した一般社団法人として法人化。

活動開始前の状況や課題

- ほ場整備を進める過程で『笠木は一つ』の機 運が醸成できていた。このことが以後の集落営 農をはじめ集落組織発展の根幹となっている。
- 〇 自治機能の笠木自治会と産業部門の笠木営 農組合が協調して集落活動を行っていた。
- 〇 ほ場整備事業が完了して15年が経過、農用 地はもとより、水路、農道の補修の必要箇所が 目立ち始めていたが、コンクリート製品の使用で 個人対応での補修が出来かねる状態であった。
- 鳥獣害、特にイノシシによる被害が日常的に 多発し、対応に苦慮していた。

水路の傷み



イノシシによる被害(冬期)

取組内容

- 外来植物(特にセイタカアワダチソウ)の植勢拡 大の抑制と撲滅を目指して、刈り取り・抜き取りを 行い、地域内での意識付けを図った。また、外来植 物植生団地部に対して、グリホサート剤散布による 駆除を実施。畦畔法面では、センチピートグラスに よるグランドカバーやブームスプレーヤーによる成 長抑制剤散布での草刈回数の軽減、除草剤の散 布によるアシカキの駆除等薬剤処理の試行・実証 も進めている。
- 〇 地域内の建設会社に勤務する農業者の技術を 活用して、畦畔の崩れや水路の付け替えなどを直 営施工で実施。
- 〇 将来を担う若者や後継者の家族を交えた交流活 動として、秋の収穫祭を開催。4人で餅をつきあう 伝統的な餅つきや竹馬などの昔の遊びで交流を深



外来植物の駆除作業



直営施工(水路の補修)

【地区概要】

- •取組面積 123ha (田121ha、畑2ha)
- ·資源量 開水路 32.3km、農道 15.5km ため池 1箇所
- 主な構成員

農業者、営農組合、農業法人、自治会、老 人クラブ

·交付金 約11百万円(H29) 農地維持支払 資源向上支払(共同、長寿命化)

取組の効果

- 活動を営農組合に集中することで地域内の求 心力が高まった。
- 〇 広域化することにより予算の重点配分が可能 となり、災害復旧の対象とならない小規模災害 への対応が可能となった。
- 〇 営農組合理事会で全体の方向性が出せるの で、水利の悪いほ場が小作に出た場合等、優先 的に修理して小作者を募ることが出来る。
- ホタル生息地の手入れや環境美化活動(ゴミ 拾い)等に参集する人数が増えた。
- 出身者が帰郷する機会が増えた。



秋の収穫祭



環境美化活動